

1 研修事業名	平成 28 年度 サービス提供責任者現任者研修
2 事業目的・ねらい	<p>超高齢社会の到来による介護ニーズの増大に伴い、住み慣れた地域で要介護者等の生活を支える訪問介護サービスの質・量の両面からの充実が求められています。また、訪問介護サービス計画立案や調整、訪問介護員の育成などを担うサービス提供責任者の役割は、ますます大きくなっています。</p> <p>そこで、サービス提供責任者の役割や責任を確認すると同時に、利用者が望む在宅生活を送るために必要な訪問介護計画の作成・展開方法等を学び、もってサービス提供責任者としての資質向上をめざします。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供責任者としての役割・責務を確認し、行動規範を確立することができる。 ・訪問介護計画の作成と展開方法について学び、ニーズに的確に応えることができる。 ・介護支援専門員との連携方法を学び、ケアプランにおける訪問介護を適切に位置づけることができる。 ・ヘルパーのコミュニケーション能力を高める技能を知り、ヘルパーと利用者との関係を良好にすすめるために役立てることができる。
4 対象者	現在、神奈川県内介護保険指定訪問介護事業所のサービス提供責任者として活動中で、4日間のカリキュラムすべてに参加できる方 40名

5 科目名	サービス提供責任者の役割と望まれる姿勢
6 講義担当者名	柴田範子（NPO 法人 楽 代表）
7 講義の日程	2016 年 8 月 8 日（月）10：00～12：00
8 時間数	2 時間
9 講義の方法	講義
10 科目のねらい	サービス提供責任者の役割を再確認し、どのような知識や技術をもって任務にあたるかを考える。
11 科目の内容	・サービス提供責任者の業務内容と業務のポイントの確認とタイムマネジメント 等
12 使用テキスト	講師が用意するレジュメ
13 事前課題等(レポート)	なし
14 使用機材	未定
15 備考	未定

1 研修事業名	平成 28 年度 サービス提供責任者現任者研修
2 事業目的・ねらい	<p>超高齢社会の到来による介護ニーズの増大に伴い、住み慣れた地域で要介護者等の生活を支える訪問介護サービスの質・量の両面からの充実が求められています。また、訪問介護サービス計画立案や調整、訪問介護員の育成などを担うサービス提供責任者の役割は、ますます大きくなっています。</p> <p>そこで、サービス提供責任者の役割や責任を確認すると同時に、利用者が望む在宅生活を送るために必要な訪問介護計画の作成・展開方法等を学び、もってサービス提供責任者としての資質向上をめざします。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供責任者としての役割・責務を確認し、行動規範を確立することができる。 ・訪問介護計画の作成と展開方法について学び、ニーズに的確に応えることができる。 ・介護支援専門員との連携方法を学び、ケアプランにおける訪問介護を適切に位置づけることができる。 ・ヘルパーのコミュニケーション能力を高める技能を知り、ヘルパーと利用者との関係を良好にすすめるために役立てることができる。
4 対象者	現在、神奈川県内介護保険指定訪問介護事業所のサービス提供責任者として活動中で、4日間のカリキュラムすべてに参加できる方

5 科目名	訪問介護計画の基本的視点
6 講義担当者名	柴 田 範 子 (NPO 法人 楽代表)
7 講義の日程	2016 年 8 月 8 日 (月曜日) 13:00~16:00
8 時間数	3 時間
9 講義の方法	講義
10 科目のねらい	居宅サービス計画をどのように訪問介護計画に落とし込むか。そしてその計画書に基づき、訪問介護員が利用者支援の実質を担うことができるか。多角的な視点から、訪問介護計画の重要性を学ぶ。
12 科目の内容	介護支援専門員から提供される計画書と訪問介護計画の位置づけを理解し、訪問介護が利用者の生活支援にどうかかわるかを吟味する。
13 使用テキスト	講師が用意するレジュメ
14 事前課題等(レポート)	受講者が担当するケースの訪問介護計画書、アセスメントシート、ヘルパー指示書 ※詳細は受講決定通知書に同封されている用紙で確認ください
15 使用機材	未定
16 備考	

1 研修事業名	平成 28 年度 サービス提供責任者現任者研修
2 事業目的・ねらい	<p>超高齢社会の到来による介護ニーズの増大に伴い、住み慣れた地域で要介護者等の生活を支える訪問介護サービスの質・量の両面からの充実が求められています。また、訪問介護サービス計画立案や調整、訪問介護員の育成などを担うサービス提供責任者の役割は、ますます大きくなっています。</p> <p>そこで、サービス提供責任者の役割や責任を確認すると同時に、利用者が望む在宅生活を送るために必要な訪問介護計画の作成・展開方法等を学び、もってサービス提供責任者としての資質向上をめざします。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の最新動向を知り、自事業所の対応等を検討することができる。 ・サービス提供責任者としての役割・責務を確認し、行動規範を確立することができる。 ・訪問介護計画の作成と展開方法について学び、ニーズに的確に応えることができる。 ・介護支援専門員との連携方法を学び、ケアプランにおける訪問介護を適切に位置づけることができる。 ・ヘルパーのコミュニケーション能力を高める技能を知り、ヘルパーと利用者との関係を良好にすすめるために役立てることができる。
4 対象者	現在、神奈川県内介護保険指定訪問介護事業所のサービス提供責任者として活動中で、4日間のカリキュラムすべてに参加できる方 40 名

5 科目名	訪問介護計画作成演習①②
6 講義担当者名	柴田 範子（NPO法人 楽代表）
7 講義の日程	2016 年 8 月 19 日（金曜日） 10:00～16:00 8 月 29 日（月曜日） 10:00～16:00 ※日程が変更となりました
8 時間数	10 時間（休憩時間各日 1 時間除く）
9 講義の方法	講義、演習
10 科目のねらい	居宅サービス計画の方針から、個別の支援計画として訪問介護計画を作成する際に重視すべき視点（アセスメントポイント、ニーズ把握）をもとに、事例を通して作成演習を行う。さらに、これを現場に反映できるよう、実際のケース事例を用いて作成し、計画の妥当性についてグループメンバーと多角的に検討する。
11 科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントについて精通する ・訪問介護計画作成において重視すべき視点を確認する ・わかりやすく、伝わりやすい訪問介護計画作成方法の習得する
12 使用テキスト	講師が用意するレジュメ（必要に応じ資料を活用）
13 事前課題等（レポート）	未定
14 使用機材	なし
15 備考	なし

1 研修事業名	平成 28 年度 サービス提供責任者現任者研修
2 事業目的・ねらい	<p>超高齢社会の到来による介護ニーズの増大に伴い、住み慣れた地域で要介護者等の生活を支える訪問介護サービスの質・量の両面からの充実が求められています。また、訪問介護サービス計画立案や調整、訪問介護員の育成などを担うサービス提供責任者の役割は、ますます大きくなっています。</p> <p>そこで、サービス提供責任者の役割や責任を確認すると同時に、利用者が望む在宅生活を送るために必要な訪問介護計画の作成・展開方法等を学び、もってサービス提供責任者としての資質向上をめざします。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供責任者としての役割・責務を確認し、行動規範を確立することができる。 ・訪問介護計画の作成と展開方法について学び、ニーズに的確に応えることができる。 ・介護支援専門員との連携方法を学び、ケアプランにおける訪問介護を適切に位置づけることができる。 ・ヘルパーのコミュニケーション能力を高める技能を知り、ヘルパーと利用者との関係を良好にすすめるために役立てることができる。
4 対象者	現在、神奈川県内介護保険指定訪問介護事業所のサービス提供責任者として活動中で、4 日間のカリキュラムすべてに参加できる方 40 名

5 科目名	サービス提供責任者の指導業務について
6 講義担当者名	柴田 範子（NPO 法人 楽代表）
7 講義の日程	2016 年 9 月 21 日（水曜日） 10：00～11：00
8 時間数	1 時間
9 講義の方法	講義、演習
10 科目のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護計画の目標達成に向けて、訪問介護員に何をどう伝えるか。グループメンバーと、日頃行っている訪問介護員の指導育成内容について知恵や工夫を分かち合い、自事業所での方法を検討する。
11 科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所が行っている訪問介護員の育成指導内容について ・各受講者が日常で意識している訪問介護員への声かけ等について全体で共有し、自事業所の方法を検討する。
12 使用テキスト	講師が用意するレジュメ
13 前課題等(レポート)	未定
14 使用機材	未定
15 備考	未定

1 研修事業名	平成 28 年度 サービス提供責任者現任者研修
2 事業目的・ねらい	<p>超高齢社会の到来による介護ニーズの増大に伴い、住み慣れた地域で要介護者等の生活を支える訪問介護サービスの質・量の両面からの充実が求められています。また、訪問介護サービス計画立案や調整、訪問介護員の育成などを担うサービス提供責任者の役割は、ますます大きくなっています。</p> <p>そこで、サービス提供責任者の役割や責任を確認すると同時に、利用者が望む在宅生活を送るために必要な訪問介護計画の作成・展開方法等を学び、もってサービス提供責任者としての資質向上をめざします。</p>
3 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス提供責任者としての役割・責務を確認し、行動規範を確立することができる。 ・ 訪問介護計画の作成と展開方法について学び、ニーズに的確に 대응することができる。 ・ 介護支援専門員との連携方法を学び、ケアプランにおける訪問介護を適切に位置づけることができる。 ・ ヘルパーのコミュニケーション能力を高める技能を知り、ヘルパーと利用者との関係を良好にすすめるために役立てることができる。
4 対象者	現在、神奈川県内介護保険指定訪問介護事業所のサービス提供責任者として活動中で、4 日間のカリキュラムすべてに参加できる方 40 名

5 科目名	サービス提供責任者のためのコミュニケーションスキルおよび総括
6 講義担当者名	柴田 範子（NPO法人 楽代表）
7 講義の日程	2016 年 9 月 21 日（水曜日） 11：00～16：00
8 時間数	4 時間（休憩時間 1 時間除く）
9 講義の方法	講義、演習
10 科目のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の固有性を理解し、尊重するために必要なコミュニケーションスキルについて学び、後輩ヘルパーの育成を行う資質を習得する。 ・ 研修終了後の自身の成長目標を明確にし、メンバーとわかちあう。
11 科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルパーに必要なコミュニケーションスキルを考える。 ・ 後輩ヘルパーと利用者が良好な関係を保つために必要な指導方法を学ぶ。 ・ 研修終了後の、自身の成長目標を明確にする。
12 使用テキスト	講師が用意するレジュメ
13 前課題等(レポート)	未定
14 使用機材	未定
15 備考	書籍等の紹介